



クリスチャン・マセ駐日フランス大使
Christian MASSET
Ambassadeur de France au Japon



1957年1月23日、セート市（エロー県）に生まれる。パリ政治学院（IEP）およびエセック経済商科大学院大学（ESSEC）を卒業。国立行政学院（ENA、ルイーズ・ミシェル期生）卒業後、フランス外務省に入省する。

外務省政務局（1984-87年）に配属。その後、在イギリス・フランス大使館一等書記官（1987-89年）、外務省経済局（1989-91年）、在南アフリカ・フランス大使館一等参事官（1991-94年）、ヨーロッパ連合（EU）フランス政府常駐代表部参事官（1994-97年）、ユベール・ヴェドリーヌ外務大臣官房技術顧問（1997-99年）を歴任した。

在イタリア・フランス大使館公使（1997-2002年）、EUフランス政府常駐副代表（2002-07年）を務める。

2007年に外務省経済・財務局長（DAEF）、2009年にDAEFと国際協力・開発総局が合併されたグローバル化・開発・パートナーシップ総局の局長に就任。フランス在外教育機構（AEFE、フランスの在外教育機関網を指導する機関）理事長、公益団体フランス国際協力（FCI、外国においてフランスの専門能力を促進する機関）理事長を兼務。フランス文化センターの戦略方針協議会委員も務める。

2011年12月21日の閣議で採択されたデクレで駐日フランス大使に任命される（同年12月23日付官報）。

既婚、子ども3人（男3人）。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ、国家功労勲章シュヴァリエを受勲している。